

# 会 報

平成14年4月15日

# てんりゅう



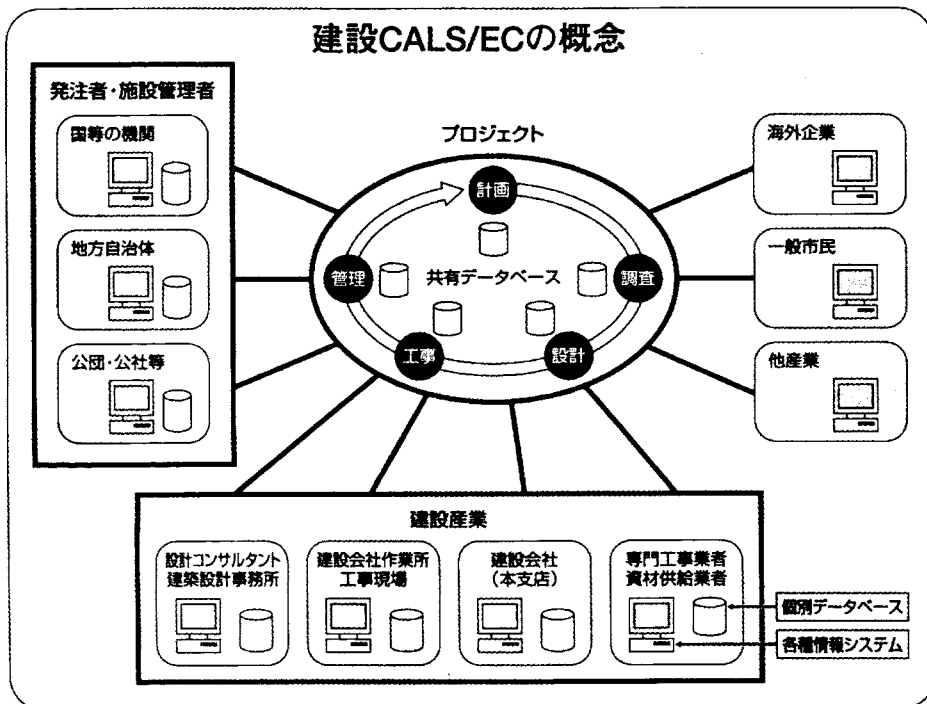
(船明ダム湖畔にて)

会報てんりゅう 第72号

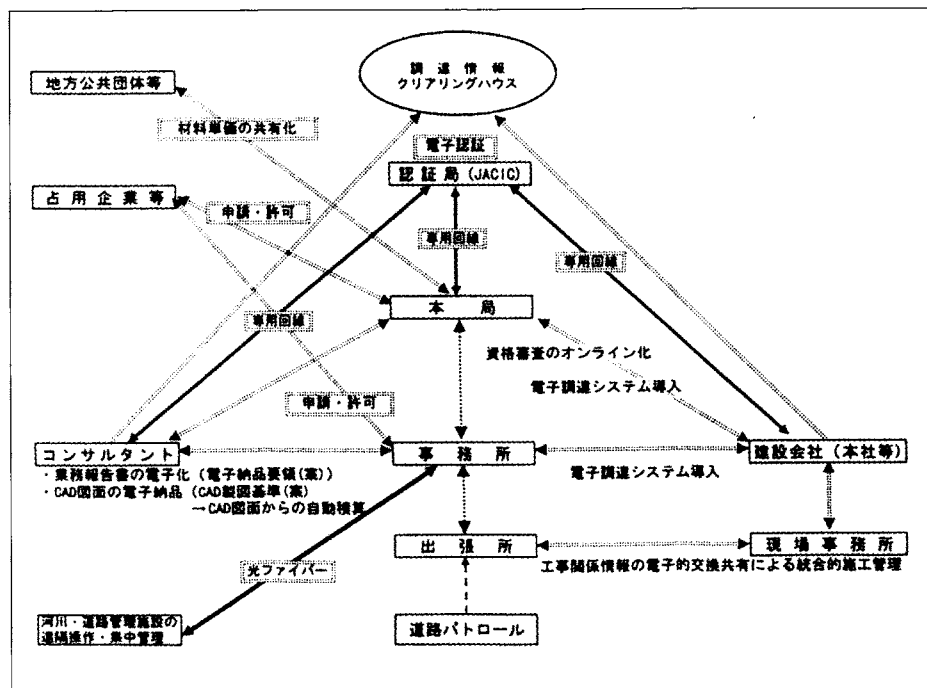
(社)天竜建設業協会 天竜市二俣町鹿島491-5 ☎〈0539〉26-1562  
編集・発行 広報委員会 題字 秋山錠介  
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp

## メイン (全体)

## 建設CALS/ECの概念



## 中部整備局のアクションプログラム



## 特集

## 建設CALS/EC

2004年度から  
国交省で導入  
公共工事の品質確保  
とコスト縮減などに  
有効

建設省(現在の国土交通省)が平成九年六月に「建設CALS/ECアクションプログラム」を公表して、2004年から同省の直轄工事では本格的にCALSの導入に着手する。すでに一部の直轄工事ではパイロット事業として試験的にCALSを導入して進めている。この建設CALSは、公共事業の調査、計画、入札、施工及び維持管理の各事業プロセスで発生する各種情報を電子化し、インターネット等のネットワークを利用して、発注者や受注者等の関係間あるいは事業プロセス間において、効率的に情報を交換、共有、連携できる環境を創出し、合わせて品質の確保、向上、建設コストの縮減、事業執行の効率化並びに透明性の確保などを目指している。

建設CALSを導入することによって①図面や書類、写真等の各種情報を電子化して管理②通信ネットワークを利用して、関係間で情報の交換共有を行う③電子入札を実施④成果物の電子納品を実施する⑤図面からの自動積算を実施するなど行い、発注者側に

は①品質の確保・向上②建設

た。

コストの縮減③事業執行の迅速化④透明性の確保などの効果

しかし、アメリカでは、CALSという言葉は、軍事面のイメージが強すぎるため、

移動コストの削減②生産性の向上③競争力強化などの効果

あまり使用されずEC (Electronic Commerce 電子

が生まれてくると予想される。cycle Support」(継続的な

このため、国土交通省は建設業におけるCALSという

85年のアメリカ国防省がす

設業におけるCALSの前に「建

の迅速化、コストダウンなど

「建設CALS/EC」と

キメ細かな対応を行ったのが

「建設CALS/EC」と

### 静岡県におけるCALS/ECフェーズ別整備概要

普及範囲 (目標)	必要な基礎・インフラ	活動内容			到達概念	整備目標	実施期間
		教育・普及面	技術面	制度面			
一部の受注者 (建設コンサルタント、建設業者)	県並びに、一部の市町村の整備	コンピュータ、ネットワークの整備、各種ソフトウェアの整備	電子メール・情報共有システムの利用促進	各種の制度の調査と実証実験の開始	情報の電子化による業務効率化	実証実験開始と電子データ交換の実現	フェーズ1 2002年度～2003年度
大部分の受注者	県並びに全ての市町村 (フェーズ1開始)	ネットワークの高速度化・大容量化、各種のシステム化、データベース化、GIS基盤の整備	データベース、システム	各種の制度の改訂検討と電子情報交換の制度化	電子情報交換の活用・管理による公共事業生産性の向上	システム構築と電子化に対応した制度の確立	フェーズ2 2004年度～2005年度
全ての受注者		GISを基にした情報共有システム、システムの統合・連携	各種のシステム、データベースの連携	電子情報交換の活用・管理による公共事業生産性の向上	電子情報交換の活用・管理による公共事業生産性の向上	公共事業執行システムの本格稼働	フェーズ3 2006年度～2007年度

昨年から一部の直轄事業でイ

ンターネットを利用した電子入札を開始し、競争参加資格

の確認申請から確認結果の通知、入札執行、入札結果の通知、

再入札、抽選等まで実施している。

全国の自治体が目指してい

この電子入札の効果としては、①インターネットを通じて、

参加条件を満たす者が誰でも容易に入札に参加できる (競争性の確保、受注機会の拡大)

②入札に参加するための移動回数が大幅に減少する (建設コストの縮減) ③書類の作成、

送付業務が自動化される (事務の効率化) などが期待されている。

国土交通省では、2004年をメドに建設CALSを本格的に導入する形で、準備に入っているが、国土交通省に

追隨する形で地方自治体などの発注機関もCALS導入を見据えている。

一方、静岡県でもCALS/EC推進協議会の専門部会がCALS導入に伴ってのアクションプログラムを策定しているが、本格的な導入は2007年になりそう。また、

入札も同じく

14年度の推進協議会の事業としては、発注者側のCADの教育普及のため技術職員研修を行うことや地理情報システム (GIS) 整備利用の基本計画、入札情報サービス、(PPI) のシステム開発着手、

コアコンソーシアムの開発を見ながらとなるが電子入札システムの実証実験を行っているなどとなっているほか、協議会内に教育ワーキンググループや市町村部会 (仮称) を設置したいとしている。

また、浜松市においては、国土交通省が導入する2004年から2005年には一部の工事でCALSを導入したいとの考えで、現在準備を進めている。

このように近い将来、建設工事における一連の作業は、建設CALS/ECによって完全に標準化・電子化されることになる。







## 市町村合併

最近、市町村合併の話をよく耳にする。静岡市と清水市の合併も決定した。わたしたちの住んでいるこの地域も例外ではない。

基本的には、住民からの要望で進む話だというが、実際は、国の「交付税削減」というムチにより、とりわけ財政の厳しい地方の政治家が慌てている様相だと思う。

しかし、ひとくちに合併と言っても、南部の地区と、この北遠地区とは、その環境がずいぶん違うと思う。

高齢者の割合が30%から40%をしめ、税収が極端に少ない佐久間、水窪、龍山地区においては、交付税がなければ町村財政が成り立たないの明白であり、そういった意味において各首長も（町民も）頭が痛いことだと思う。

それに、合併というと聞こえはいいのだけれども、5万人以上の市を目指すとなると、実際は大都市による吸収合併という意味合いのほうが大きく、吸収される側から見ると、相手に「合併するのはいやだよ」と言われると、国や県の指導がなければ、それ以上話の進めようがないのではなからうか？

仮に市町村合併ができず、交付税がなくなったとしたらどうなるのだろうか？ 高齢者をたくさん抱え、少ない労働人口でその高齢者を養っていくとしたら・・・払った税金が、すべて高齢者に消えてしまうのか？ 税金が、子供たちの生活のためにはまわらなくなる？ それとも、貧しいお年寄りには野垂れ死に？・・・恐ろしい。

近い将来、日本中が同じような境遇に陥る。その先鞭をきる北遠地区は、その意味で日本の最先端をいつており、その未来が日本の将来を予言しているのかもしれない。

(N・M)

## 最近のキーワード

### 環境会計システム

環境庁のガイドラインの環境会計システムの定義は「企業が環境保全のために支出したコストとその活動で得られた効果を定量的に把握し、分析、公表する仕組み」とある。

二十一世紀は、環境の世紀といわれている。近年、環境会計を導入する企業が急激に増えている。この背景は環境問題の多様化、複雑化にともない、企業の環境に関するリスクが増大し

ているのが原因といわれている。国などによる環境規制は、年々強化され、その対策にかかる投資は増加の一途にある。そのため、環境保全にかかった費用と逆に保全による効果と成果をできるだけプラス・マイナスを明確にして経営を効率化していこうというシステム。

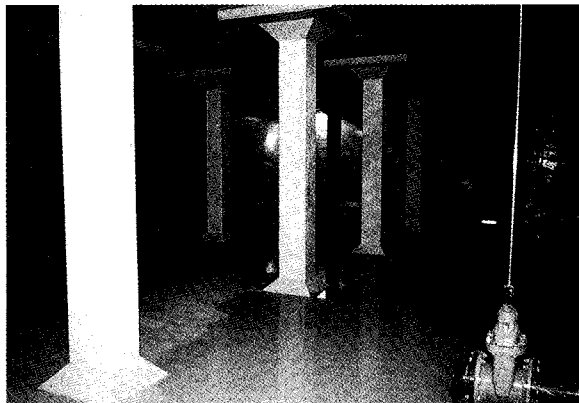
## 建設ギャラリー

### 平成13年度 皆原配水池増設工事

工事箇所 天竜市二俣町二俣地内  
工事期 平成13年10月1日～平成14年3月15日  
発注者 天竜市役所 水道課  
施工者 (株)森下組

〈工事概要〉 Rc造配水池 Ve=500m<sup>3</sup>×1池  
調整室取壊し工 1式

池内、場内配管布設工 1式  
〈工種・数量〉 ろ過砂除去 260m<sup>3</sup>  
Rc造配水池築造 Ve=500m<sup>3</sup>×1池  
防水剤塗布 583m<sup>2</sup>  
既設調整室取壊し 1式  
配管布設工 1式



#### コメント

本工事は下水道の普及に伴う水需要の増量を考慮し500m<sup>3</sup>の配水池を築造しました。当初は施工箇所への機械・資材の搬入が困難でしたが、仮設道を設置することによりその問題も解消でき、無事工期限内に竣工を迎える事ができました。

## 事務局だより

## ◎平成十三年度定時総会

平成十三年度定時総会を三月十九日に天竜建設会館において開催しました。

議案は、平成十四年度事業計画案、収入・支出予算案、会費賦課率案、会員の退会、代表者の変更等の議案、独占禁止法遵守についての決議並びに役員の改選について審議しました。予算関係議案等すべて全会一致で原稿どおり可決承認しました。

役員の改選についても、各地区から選考委員を選出して滞りなく新役員を選出しました。その他の案件として、十四年度の調査研修旅行の日程について、六月上旬に行き先を二箇所程度に絞って行うことにしました。また、決算総会の日程は、五月十四日に開催の予定と決定しました。

## ◎協会新役員等が決まる

## ・役員

会長 秋山錠介  
副会長 西村正則  
理事 今場嘉寿  
村松敏彦 石川雅彦  
乗松敬貢 道林忠雄  
夏目 悟 小林 彰  
監事 黒川敏彦 長谷川智彦  
坂本元次

## ・委員会・部会

総務委員会  
委員長 今場嘉寿  
副委員長 乗松敬貢  
企画青年委員会  
委員長 石川雅彦  
副委員長 村松敏彦

## IT対策委員会

委員長 鈴木 明  
副委員長 鈴木孝典

広報委員会  
委員長 夏目 悟  
副委員長 清水 充

労務委員会  
委員長 西村正則  
副委員長 長谷川智彦

土木委員会  
委員長 小林 彰  
副委員長 黒川敏彦

建築委員会  
委員長 道林忠雄  
副委員長 松下幹雄

環境・災害対策委員会  
委員長 村松敏彦  
副委員長 吉田正一

五〇周年記念委員会  
委員長 今場嘉寿  
副委員長 夏目 悟

五〇周年記念誌委員会  
委員長 夏目 悟  
副委員長 清水 充

防災安全委員会  
委員長 乗松敬貢  
副委員長 片桐重文  
大石海男

## ◎平成十四年度人事異動

## 北遠農林事務所

▽農林整備課長 高梨国広  
▽中部農林農地整備課長 戸塚喜雄  
▽森林整備課長 伊藤 豊

▽林道課長 鈴木英之  
▽総務係長 鈴木英之  
▽西部健康福祉センター健康福祉主査 鈴木英之

天竜土木事務所  
▽技監兼企画検査課長 村松 栄  
▽天竜土木技監兼水窪支所長 松浦一男  
▽技監兼春野支所長 松浦一男  
▽天竜土木都市計画課長 福田正明  
▽総務課長 栗倉 栄  
▽西部県行政センター商工労働課長 栗倉 栄

## 天竜土木事務所

▽用地課長 富永孝昭  
▽管理課長 青木藤夫  
▽中遠農林用地主幹 鈴木勝義  
▽都市計画課長 鈴木勝義  
▽土木部技術指導課検査監 森 純一  
▽建築住宅課長 森 純一  
▽浜松土木建築住宅課主幹 近藤五郎  
▽検査監 近藤五郎  
▽静岡土木主幹 桑原幸夫  
▽主幹(春野) 桑原幸夫  
▽主幹(水窪) 鈴木佐都社  
▽企業局西遠主任 北原龍吾  
▽建設業係長 藤田安志  
▽浜松土木都市計画係長 藤田安志  
▽企画係長 藤田安志  
▽御前崎土木工事主任 藤田安志

▽工事1係長 寺本泰樹  
▽監査委員主査 齊藤昌之  
▽工事2係長 齊藤昌之  
▽天竜土木都市計画主任 齊藤昌之

◎静岡県建設業協会総会  
日時 平成十四年三月二十四日  
午後一時より  
場所 ホテルアソシア静岡タミナル三階 駿府の間  
表彰(当協会関係)  
小林賢二(アキヤマ)  
藤森宏持(アキヤマ)  
五島 優(アキヤマ)

◎平成十四年度通常総会の予定  
日時 平成十四年五月十四日  
午後二時  
場所 天竜建設業会館  
議題  
・平成十三年度事業報告について  
・平成十三年度一般会計収支決算報告について

◎天竜建設業協会の予定  
日時 平成十三年度経理状況の監査  
(五月七日 午前十一時)  
\*役員会  
(五月七日 午後一時)

◎静岡県建設業協会総会の予定  
日時 平成十四年五月二十四日

◎職場安全標語の募集  
五月に詳細を通知します。  
七月に実施する安全祈願祭の席上で優秀作品を賞揚し、静岡県支部に応募する。

◎安全パトロールの実施  
四月 四日  
五月 九日  
六月 十三日  
七月 四日  
八月 一日  
九月 五日  
十月 三日  
十一月 七日  
十二月 五日  
一月 九日  
二月 六日  
三月 六日

◎被災防天竜分会の予定  
技能講習会  
\*地山土止 五月二十八日～三十日  
\*足場 六月十一日～十二日  
\*型枠 六月十八日～十九日





水窪町役場住民課  
高木 美香



私は、水窪町役場住民課で戸籍係を担当しています。短大を卒業して「仕事」というものが初めてで、当初は私にやっていけないのだろうかという不安と、来庁された方への対応の仕方に戸惑いばかりでしたが、職場のみなさんに助けられて二年が過ぎようとしています。私にとって仕事は毎日が勉強で、戸籍の届書受理・審査には正確かつ慎重な処理を第一として臨機応変に対応しています。又、町民のみなさんをはじめ、来庁された方が利用しやすい窓口であることを常に心掛けるようにしています。

プライベートでは、ドライブをすることが好きで、季節に合わせて様々な場所へと足を運んでいます。特に夏には、友人達と計画を立ててキャンプやバーベキューをすることが恒例行事となっています。多忙なスケジュールを調整して久しぶりに会った車内では、話はずみ、道を間違えてしまったり到着時間を大幅に過ぎてしまったことも…。今年もすでに計画中で、夏がくるのがとても楽しみです。

最後に新緑の季節には自然がいっぱいの「水窪町」へ是非おこし下さい。

私の家族は、父、妻そして、息子二人の五人で、春野町に住んでいます。

大正十五年生れの父、最近めっきり耳が遠くなり、とんちんかんな返事が返ってくることもしばしば。父曰く「耳の遠くなるのは家系」ということは自分も考える歳になったのかと思うこのごろです。

二人の息子、仲がいいのか悪いのか、二人いっしょにテレビを見たり、一つの部屋で寝起きしているのだが、どちらの言葉が悪いのか、毎日けんかが絶えない。先日、何故原因なのかはわからないが、見てみれば障子に人型の穴がポツカリと。トムとジェリーのアニメの世界はまたドリフのコントの世界か。「何を



My Family

乗松建設株式会社  
森田 茂樹

やってる!!」とおこつてみてもその時だけは静かになるのだが…。

こんな兄弟の兄は、本当に「おつとり」な性格で、今春中学校を卒業し何とか無事高校生となります。

弟は「マイベース」「ゴーイング・マイ・ウェイ」中学校二年生です。こんな男四人の中で、毎日の家事をこなしている妻。「私の話し相手、味方になってくれる女の子が欲しかった。」と妻のひとり言が聞こえてくる。

いつの間にか長男に身長で追い越され、上を見上げて話さなければならぬ。下の息子にもすぐ追い越されるか。

まあ、二人とも成長しているというところでうれしい事ではあるのですが、そんなことを思っている親父のひとり言でした。



## ほろ酔いタイム



今回のほろ酔いタイムは、二俣西古町は「おかげ家」とりよし」に行ってきました。

この店の名物は、なんとといっても「グロップ」形の鳥から揚げ。塩胡椒味に甘たれ酢をつけて食べるこれが絶品!!地元ではなじみの深い一品です。

このお店は、昭和三十五年先代の田中敏雄さんが鳥料理専門「鳥よし」を開業、現在では、二代目田中利往さんが二年前より「おかげ家」とりよし」として受け継ぎました。



http://www.h2.dion.ne.jp/~to-lyosi/にも載っています。

から揚げ以外にも、オリジナル料理「楽鍋」(味噌仕立ての鳥鍋)などメニューも豊富、少人数(十五名程度)の宴会にはピッタリです。

ぜひ、あつあつのグロップ、形鳥から揚げを皆で食べて下さい。お持ち帰りも可。

なお、詳しくは、とりよしホームページ

## かんとくさん



春野町役場  
下水道課主事補  
酒井 直人

私は、静岡県立浜松工業高等学校土木課を卒業し、春野町役場に勤めるようになり、三年が過ぎました。

現在の下水道課下水道係に配属されてからは、まだ一年と経験も浅く、少しずつ勉強しながら

毎日を過ごしています。

高校で学んだことは、ほとんど役立たずとは言えず、現場で覚えることが多いように感じます。今は現場の経験も少なく、先輩や現場の方々の困らせるとも多々ありますが、早く成長して、周囲からも信頼してもらえようになりたいと思っています。

職場の上司の方々や先輩達は、楽しく、厳しく、優しい方ばかりで、結構満足して仕事をやらしてもらっています。そんな先輩方の力になれるように努力していきますので、これからも、よろしく願います。